

JCI「混和材料から見た収縮ひび割れ低減と耐久性に関する研究委員会」WG4

第5回委員会 議事録

日時 2009年12月04日(金) 16:30～19:00

場所 (社)日本コンクリート工学協会 12階 第2会議室  
〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7相互半蔵門ビル12階

出席者(順不同・敬称略)

主査	石川 嘉崇	電源開発(株) 茅ヶ崎研究所
委員	檀 康弘	新日鐵高炉セメント(株) 技術開発センター(パート出席)
	船本 憲治	九州電力(株) 土木部原子力グループ
	二戸 信和	(株)デイ・シイ 技術情報室
	中山 英明	(株)宇部三菱セメント研究所 埼玉センター
事務局	福林 幸雄	

配布資料

No.5-0	第4回WG4議事録
No.5-1	第6回WG4全体会議・議事録
No.5-2 1	建築用高炉コンクリートに関する仕様書および指針(壇委員)
No.5-2 -2	土木工事における仕様書上の高炉セメントの扱いについて(壇委員)
No.5-3	FAコンクリートの収縮に関する文献考察・データ(福留委員)
No.5-4	SFを混合したコンクリートの収縮に関する文献考察・データ(中山委員)
No.5-5	混和材料から見た収縮ひびわれと耐久性に関する研究DB:整理表(小田部委員)
No.5-6	FAコンクリートと構造物の調配合のグラフ(船本委員)
No.5-7-1	3成分系の文献整理とりまとめ(竹田委員)
No.5-7-2	文献:高流動コンの配合条件が乾燥収縮に及ぼす影響(竹田委員)
No.5-7-3	ドバイにおけるモノレール高架橋の設計と施工(竹田委員)
No.5-7-4	明石海峡大橋アンカレジにおける低発熱型高強度子音クリートによる地下連続壁の施工(竹田委員)
No.5-7-5	巨大アンカレジをつくる(その1)
No.5-7-6	巨大アンカレジをつくる(その2)

議事

1 前回議事録の確認

資料 No.5-0 に基づき, 前回議事録の確認をし, 文献調査の進捗等を確認した。

2 混和材を使用したコンクリートの仕様書および指針資料(資料 No.5-2)

建築用高炉コンクリートに関する仕様書および指針および木工事における仕様書上の高炉セメントの扱いについて壇委員より説明があった。

3 既往文献の調査結果の評価(資料 No.5-3～7)

- ・FA コンクリートの収縮に関する文献考察・データについて福留委員のとりまとめ結果について審議した。これらの結果については, N との比較で相対量について定量化できないか検討する。
- ・高炉スラグについても同様の検討を実施する。
- ・SF についての収縮に関する文献考察・データについて中山委員より説明があった。
- ・3成分系については, 現状の文献整理とりまとめ集を生かして, 小田部委員にまとめていただく。
- ・船本委員から FA コンクリートと構造物の調配合のグラフについて, 説明があり, 構造物の調配合にはかなり特徴があることがわかった。
- ・3成分系実構造物の文献提供が竹田幹事よりあった。

- ・ この例のほかに、各自ランドマークタワー（二戸委員担当）、三峡ダム（石川主査担当）等の例はないか探すこととしたい。
- ・ また、中国の煙台での 3 成分系セメントのデータ（中山委員担当）をのせたほうが良いとの意見があった。
- ・ また、中性化については、実構造物等のデータの収集を開始することとした。

#### 4 WG4 目次について

WG4 の目次について、仮目次を作成した。（添付次ページ）

#### 5 その他

年度末までに、2 回程度開催して仮原稿を仕上げる予定とした。（1 月、3 月初）

また、実験については年度でなんとか結果が出せる程度なので、結果の検討をふくめて本委員会を延長または、名称を変えて新規存続をお願いしたいとの要望があった。

（文責 石川）  
以上